

平成20年度ボランティア総合センター事業計画書

事業目標 市民が主役の住みよいまちづくり

1. 活動しやすい環境づくり
 - ① ボランティアプログラムの開拓
 - ② スキルアップのための研修・講座の開催
2. ネットワークによる情報の共有化と機能アップ
 - ① 情報の収集・整理・発信の強化
 - ② ネットワークを活かした活動の充実
3. 地域における福祉教育の推進
 - ① 児童・生徒のボランティア活動参加促進
 - ② 地域の環境づくり
4. 地域福祉活動の充実・発展
 - ① 地域ボランティアの育成
 - ② 地域における支援体制の整備

☆…平成20年度新規事業

	事業	内容	実施時期
常設事業	ボランティアコーディネート事業	ボランティア活動をしたい人にその希望にあった活動を紹介したり、ボランティアを求めている人・団体に希望にあった活動者を紹介するなどの相談受付、助言・指導等の支援を行う。	通年
	ボランティアネットワーク構築事業	ボランティア活動者及び支援機関の登録について、様式の変更をデータベースの見直し・再構築を行い、さらなる氷見市内のボランティアネットワークの強化を図る。	通年
	ボランティア活動保険の普及事業	ボランティア活動者が安心して活動ができるための保険の紹介と加入受付事務を行う。	通年
	ボランティア情報発信事業	ボランティアに関する各種情報（資金支援情報、ボランティア募集情報等）を広報紙・HP・掲示板等で提供するほか、登録者等のニーズにあった情報を提供するシステムを構築する。	通年
	ボランティア寄付の受付	氷見ボランティア積立寄付の周知・受付と合わせ、誕生日ボランティア寄付やふるさとボランティア寄付の普及を図る。各種の寄付を受付ける。	通年
	地域福祉教室開催	地域や教育機関のニーズにあった活動を展開できるよう、地域ボランティアの機能強化や福祉教育の充実を図る場を設ける。 例：児童・生徒の疑似体験教室、ボランティアについて語る会など	随時
	ボランティア調査の実施	ボランティアに関する実態把握やニーズ調査、地域ボランティアの実態把握など細かな分野ごとに実施し、各事業に反映させる。	随時
育成講座等	日本語ボランティア講座 (氷見市国際交流協会共催事業)	氷見市に住む外国籍の方や移住者（世帯）に対し、日本語教室や言語支援活動のボランティア活動の開発を行う。	通年 月3回
	障害者（児）支援ボランティア育成講座	障害者（児）に関する知識や支援方法を習得するボランティア育成をとおし、日常的に関わるボランティア活動の開発を行う。	通年 月2回
	ヤングボランティア活動支援	市内の小・中・高校生を対象に、氷見のボランティアについて体験を通して学び、地域について考える。	通年
	チャレンジトラベル	障害をもっている当事者とその家族、ボランティアの交流や家族のリフレッシュを目的に1泊2日で開催する。	8月9日～ 10日

研修・セミナー	福祉教育セミナー	市内の小・中・高校教員及び地域住民等を対象に、福祉教育について学び体験する。	8月
	地域ボランティア実践セミナー	地域ボランティアを対象に、地域でのボランティア活動の場の開拓など様々な研修を行い、地区独自のボランティア活動を実施する。	9月
	地域ボランティアシンポジウム	地域ボランティアを対象に、地域でのボランティア活動の在り方について考える。	11月
	福祉・保育・教育関係者の集い	市内の福祉・保育・教育関係者の交流を通して、情報の共有化を図る。	12月 第1土曜日
	ボランティア研修会	様々なテーマを設定し、幅広い層のボランティア活動者が研修できる分科会や講演・ワークショップなどの研修を実施する。	未定
啓蒙・促進事業	学童・生徒のボランティア活動推進校	市内の小・中学校を推進校に指定し、さまざまなボランティア活動を実施する。（指定3年間）	通年
	ひみチャリティーイベント	24時間チャリティー募金と併せ、市内のボランティア活動者や企業・関係機関を巻き込みイベントを開催し、寄付というボランティアスタイルの普及に努める。	8月30日
	ボランティア啓蒙イベントの開催	市民に向けたボランティア活動の普及・参加の促進を目的としたイベントを、市内のボランティア活動グループ・市民団体が主体となり企画・運営し開催する。	10月11日
	地域子どもフォーラム	子どもたち（小・中・高校生）の様々な活動体験などの発表を通し、子どもたちの活動を知り、地域の良さなどについて、地域住民と共に考えることを目的に実施する。	3月
連絡会等	ボランティア支援機関連絡会	ボランティア個人・団体と関わりのある機関が集まり、情報交換を行い、横のつながりを深める。	6月、3月
	ボランティア受入施設等担当者連絡会	受け入れをしている施設の担当者が集まり、情報交換、コーディネート能力の向上を目的とした研修を行う。	6月、3月
	地域ボランティアコーディネーター連絡会	各コーディネーターの活動や日頃の課題などを出し合い、地域で活動していくための情報や知識を共有する。	年2回
	センター運営委員会	市民のニーズを的確に捉えた運営を目標に、第三者による分析、評価を行う。	6月、11月
関連事業	☆TIC事業 (19年度～21年度)	子どもたちを対象にした、地域主体の福祉教育展開の方法を探ることを目的に徳島・広島・氷見の三都市の子どもや関係者、専門職者が交流する。 *TIC…Teens In Community（地域の中で10代のボランティア活動を支援するという取組みの名称）	通年
	ボランティアサポーター設置事業	ボランティア活動者のアドバイザーとしてサポーターを設置する。（氷見の場合は、地域ボランティアコーディネーター）	通年
	地域ボランティアセンター設置・運営支援事業	地域ボランティア活動の普及と基盤整備を目的に、2地区をモデル指定し、地域にボランティアセンターの機能をもった拠点を設置する。設置されたセンターの拠点整備や運営に対し、必要な助言・指導及び情報提供を行う。	通年
	☆災害救援ボランティアセンター整備事業	災害時に設置する災害救援ボランティアセンターが機能するよう、平常時より基盤整備し、その周知や研修・訓練を行うとともに、関連機関等とのネットワークづくりを図る。	通年

